

# ケアマネ通信おびひろ

## 37号

平成 24 年 9 月 25 日 発行  
帯広市介護支援専門員連絡協議会  
発行責任：佐藤 篤史

### 【目次】

- 1、災害ファシリテーター養成講座、災害対策訓練のご案内（開西病院在宅ケアセンター・安田裕貴さん）
- 2、青森日本介護支援専門員協会全国大会（地域包括支援センター愛仁園・渡辺こづ江さん）
- 3、帯広ケアマネ連絡協議会・第1回学習会（あかりケアプランサービス・岡本大輔さん）
- 4、日本ホスピス在宅研究会 in とかち（開西病院在宅ケアセンター・五十嵐和美さん）
- 5、癒しのオフタイム（デイサービスセンター愛仁園・岩舘研介さん）
- 6、私のお気に入り（ニチイケアセンター帯広・佐藤紀久江さん）
- 7、ケアマネの輪（社会福祉協議会・金井正樹さん）

## 災害対策ファシリテーター養成講座

開西病院在宅ケアセンター 安田 裕貴

平成 24 年 7 月 22 日（日）に札幌市で行われた「災害対策机上訓練ファシリテーター養成講座」に参加してきました。札幌はとても過ごしやすい良い天気でした。前日入りしたのですが、21 日から大通公園のビアガーデンが始まったので、街はとても賑わっていました。

3.11 東日本大震災が発生した際も、各協会に所属する介護支援専門員が連携をとりながら、迅速に被災地支援を行いました。近年、我が国日本でも地震や豪雨による災害が頻発しております。このような状況の中、介護支援専門員が日ごろから、その地域において適切な避難行動支援をとり、利用者の生活を守ることができるよう「机上訓練」が行われました。

ケアマネ連協役員から、渡辺副会長（包括愛仁園）、佐藤総務部長（居宅ピリープ）と安田（居宅開西）が参加しました。今回災害対策机上訓練に参加して、実際場面では何もできないことを思い知らされました。しかし、日頃から各事業所で対策をマニュアル化しておくことで、災害への備えができ、利用者に適切な支援ができるようになります。また、平常時においても災害が起こった時のことを想定しておくことにより、ケアマネジメントにも反映でき、実際場面でもスムーズな動きがとれると思います。災害がないということが一番ですが、こればかりは避けられるものではありません。一人一人が意識することで、救われる命があるということを今回の訓練で痛感しました。

10 月 27 日（土）には、帯広市でも災害対策机上訓練が行われる予定となっています。皆さんぜひ参加して、災害時のケアマネジメントの手法を身に付けましょう。



帯広市介護支援専門員連絡協議会 2012年度

# 災害対策机上訓練のご案内



(地震直後のケアマネ事務所のようす)

昨年3月の東日本大震災以降も全国各地で激甚災害が発生しています。つい先日、江別市で洪水による避難勧告が出されたのは記憶に新しいところです。地震の巣・十勝では、大災害が明日にも起きる可能性があります。

災害時、ケアマネジャーは自分の身の安全を図ると同時に、利用者の援護に努める社会的使命があります。災害が起きたときにどんな対応が必要なのか、介護支援専門員・介護職員として準備すべきことは何か…。こうした体験型の訓練が、万が一の災害時に必ず役立ちます。積極的にご参加下さい。

<今回は日本介護支援専門員協会が全国で実施している訓練(一日版)を半日版に圧縮して行います>

●日時：10月27日(土)

受付12:30～、訓練13:00～16:45

●会場：帯広市保健福祉センター  
多目的ホール(別館2F)

●インストラクター：笠松信幸氏

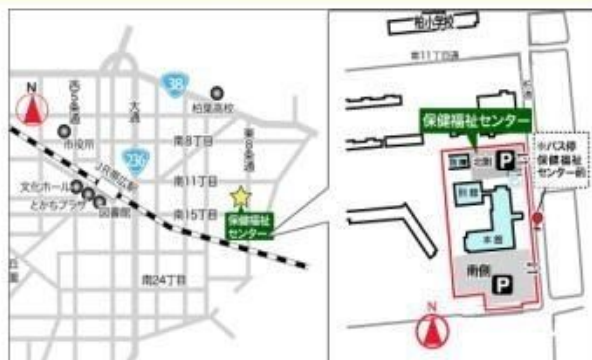
(日本介護支援専門員協会災害対策特別委員会副委員長)

●参加費：無料(会員)、非会員はテキスト代実費1,000円

※テキスト『災害対応マニュアル追補版資料集』(H24.8.1発行・1,260円)を全員にお渡しします。

●締め切り日：10月12日(金)(定員80名)別紙申込用紙でお願いします。

※締め切り前に定員に達したときは先着順になります。



主催：帯広市介護支援専門員連絡協議会  
(事務局) TEL 0155-21-3292 FAX 0155-21-3240

## <懇親会のお知らせ>

当日夜、懇親会を開きます。どうぞご参加下さい。

●日時：10月27日(土)18:00～20:00 ●会費：3500円程度

●会場：十勝旬菜馳走 DINING 樹庵(西2南9 二条ビル)

※参加する方は申込書の「懇親会」にマルをつけて下さい。  
懇親会のみ参加も歓迎です。



# 青森日本介護支援専門員協会全国大会

地域包括支援センター愛仁園 渡辺 こづ江

平成24年8月4・5日、第6回日本介護支援専門員協会全国大会 in 青森に行かせていただきました。今回のテーマは「介護保険法改正による新たな展開！利用者を支える医療・介護連携～生まれ日本の支える力（地から）、届けようラッセラにのせて～」でした。昨年の大震災の影響で1年延期され、東北の皆さん待望の全国大会開催で、約1,000人（日本協会発表）の参加がありました。当日は、笠松会長・



荒監事3人で函館から青函トンネルを抜けて到着しましたが、晴天に恵まれ、大変暑かったです。沿道に並び、明るく声をかけてくれるボランティアさんたちのおかげで、始まる前から青森を身近に感じることができました。

青森市民ホールでは、笠松会長もメンバーである災害対策特別委員会の「改訂版 災害対応マニュアル 追補版資料集」が販売され、5月の公開講座でお世話になった吉田光子さんの強い声かけのおかげで、喜んで購入させていただきました。

開会式はたくさんの人で埋められ、木村隆次日本介護支援専門員協会会長始め、齊藤勝青森県医師会会長・村上秀一青森県老人保健施設協会会長の挨拶から次々と来賓祝辞が続き、休憩時間がなくなってしまいました。皆さんが待ちに待った大会であったことを感じました。

基調講演1では横倉義武日本医師会会長から「地域を支える医療と介護の連携を目指して」というテーマでお話があり、日本医師会の提言も「地域包括ケアシステム」の考え方と方向性は同じであり、医療と介護、施設と在宅のより良い連携が構築されるよう、地域医師会の積極的な関与とそれを実現する、政策的なサポートを検討中であるとの説明がありました。

基調講演2では宮島俊彦厚労省老健局長から「介護保険法改正と社会保障・税一体改革の介護分野について」というテーマでお話があり、地域包括ケアシステムについての説明がありました。

シンポジウムでは①日本医師会三上裕司常任理事より「利用者を支える医療・介護連携」、②日本看護協会齋藤訓子常任理事より「医療・介護の連携強化に向けて」～日本看護協会の取り組み～、③日本介護福祉士会内田千恵子副会長より「介護と医療の連携」—連携のために必要な教育・研修—、④日本介護支援専門員協会濱田和則副会長より「医療・介護連携について」の発表がありました。

その後青森グランドホテルに移動し、懇親会へ。しかし、ここでも挨拶が次々と続きせっかくのご馳走が…。木村会長のねぶた囃子や津軽三味線の生演奏を聴きながら、大間のマグロ解体ショーを眺めつつ、さすがの米処の大吟醸酒をいただきつつ、全国各地からいらしたケアマネジャーの皆さんと名刺交換をするといった多忙ぶりのなか、珍しいお料理をたくさんいただきました。

そして、ねぶた祭り観覧へ移動。圧巻のねぶたの大きさと美しさに息をのみました。前述した青森県医師会会長、日本医師会会長、木村会長、全国老人保健施設協会会長、青森市医師会副会長等など、重鎮の皆さまがハネトの正装姿で青森の街を練り歩きました。これこそが医療と介護の連携の姿かも？などと思いつつ青森の夜は更けていきました。



翌日は青森国際ホテルで、わが連協の荒監事の一般演題発表です。一般演題は全会場開始時間が一致した15分ごとの発表で、4会場を自由に回れる方式でしたが、6演題の最後とあって、私が緊張してしまい、他の会場に出かける余裕がありませんでした。荒監事は落ち着いて、『地域連携への取り組み』～他職種連携の会「てんむすの会」に参加して～、を発表してくださいました。今年から北海道担当になった日本介護支援専門員協会助川副会長が座長を務めてくださり、主体的に連携に取り組んでいる活動に対しおほめのお言葉をいただき、鼻を高くしつつ、発表が無事終わったことでホッと一安心。北海道介護支援専門員協会武田会長も発表を一緒に聴いてくださいました。荒監事お疲れさまでした。



再び、青森市民ホールに移動し、記念講演1 鈴木康博厚労省保健局医療課長より「診療報酬改定と医療・介護連携」、記念講演2 宇都宮啓厚労省老健局老人保健課長より「介護報酬改定と医療・介護連携について」の発表の途中で、JRの時間となり電車に乗り込みました。2025年問題、地域包括ケアのとらえ方など考えつつ、ウトウトしつつ、乗り換えしつつを繰り返し、無事3人とも帯広に帰ってきました。

次回平成25年度の全国大会は12月14～15日、山梨県で開催いたします。会員の皆さまが研究発表に取り組めるような環境が整うことを期待して、感謝の気持ちをご報告させていただきました。ありがとうございました。

## 「帯広ケアマネ連協・第1回学習会「ケアマネジャーに必要な接遇について」

「サービス業として福祉職が利用者、地域、国民に選ばれていくかを2時間考えていく。」

あかりケアプランサービス 岡本 大輔

研修の初めに講師の畠山晴美さんから伝えられました。畠山さんが実践を通して伝える「正しい言葉遣いや挨拶、笑顔、歩き方、電話の対応」、そのどれもが“一般的に備わって当たり前”にも関わらず僕たち福祉職には不足している現実を示されました。畠山さんは自身の理念を「世の中を変えたくて、介護福祉士になった。」と話しました。この想いの経緯を聞いたとき、畠山晴美さんが話す「おもてなし」は口先だけのことではなく、福祉職がこれから兼ね備える大切なことだと改めて実感しました。

現時点で子供たちが憧れる職業の100位の中にケアマネジャーや介護福祉士が入っていない。せめて100位に入るような子どもたちがなりたいと思える夢のある職業にしたい。この研修を聞いた僕たちが畠山さんの夢を一緒に実現できればと感じました。畠山さん、ありがとうございます。



☆畠山先生です☆



笑顔が大事ですね♪

# 「日本ホスピス在宅ケア研究大会inとがち」

開西病院在宅ケアセンター 五十嵐 和美

H24年9月8、9日と帯広市民文化ホール、とがちプラザにおいて日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会 in とがち がここ帯広で開催されるとのことで貴重なお話しがたくさん聞ける機会に恵まれ、わくわくしながら帯広市介護支援連絡協議会員として参加させていただきました。

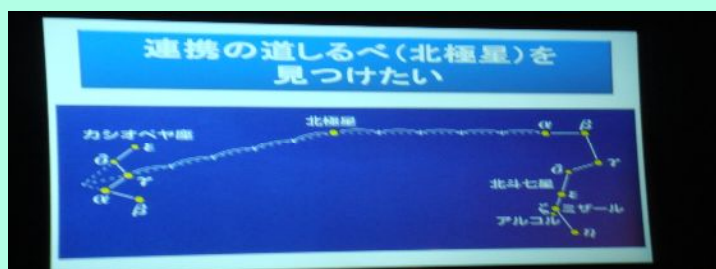
まず十勝連携の会、帯広市介護支援専門員連絡協議会で行なった「『家で暮らしたい』を支える連携 ～医療・介護・福祉から～」のシンポジウムでは、広大な十勝の大地で展開されている日々の実践をモチーフに超高齢社会の地域医療・介護・福祉、安心して暮らしていける地域づくりの方向性を皆さんと一緒に考察していきたいというテーマで6人のシンポジストの方々（医師、訪問介護員、理学療法士、医療ソーシャルワーカー、介護支援専門員、訪問看護師）が夫々の職種立場から報告されました。



医師からは、ここ十勝での在宅医療がまだ認知されていない事、在宅での看取りが少なく多くの方が病院で亡くなっていること、在宅専門医の不足等抱える問題があることがあげられていました。又専門職のみなさんからは実際の事例を通じた報告や、専門職の役割や連携のあり方、命の大切さや本人や家族が望む生活ができる普通の思いが叶うことの難しさも感じながらお話しを聞かせていただきました。資源や環境等限りある中で各々の専門性が十分に発揮されチームとして連携し同じ目標に向かって関わっていける大切さや醍醐味をまだまだ未熟ですがその一員として自分が関わっている素晴らしさを再認識しました。連携の課題やコツ、工夫等の質疑応答もあり色々勉強させていただきこつこつと、ひと足ずつですが前に進んでいきたいと強く思いました。このような貴重な時間を過ごす事ができた事に改めて感謝いたします。



その後多彩なプログラムの中から特別講演いのちの「尊さ」について語ると題し柳田邦夫氏の「物語を生きる人間」の標題でお話しを聞いたり翌日は、「高次脳機能障害」家族会のシンポジウム等に参加しました。この全国大会を誘致され今回の大会長を務められるご予約だった山下浩介先生も天国からきっと笑顔で見守ってくれていたはずです。先生がとがち大会に対するメッセージ“あなたの笑顔と寄りそう心～とどけたい、この十勝から～”がたくさんの人々の心に届いたことを願ってやみません。



☆ 最後に笠松さんからのメッセージもありました☆



# 癒しのオフタイム♪

デイサービスセンター愛仁園

生活相談員 岩館 研介

ケアマネ連協には今年から入会させて頂いていますが、実際にケアマネジャーの実務経験はありません。そんな私のところまで、Sさんが直々に出向いて下さって、ぜひ広報に載せたいと熱くお願いされてしまったもので、Sさんのお願いなら、と今回の依頼を引き受けてしまいました。ですが、何もおもしろいネタなど私には持ち合わせていませんので、唯一私の中で「お気に入りのもの? (人)」を紹介したいと思います。それは今年の11月で6歳になる、私の一人息子です。普段はやんちゃ坊主で、ハラハラさせられることが多く、まだまだ親の手を焼かせる息子なのですが、そんな息子の寝顔を見ると、仕事の疲れが一瞬で吹き飛ぶくらい、私と妻はいつも癒されています。よく考えれば、息子は来年から小学生でした。どうりで私自身、最近年を取ったかなあと感じていました。それくらい、子供の成長は早く、それと同時に私の体力も少しずつ衰えていき…(笑)。まだ、私たちのことを「パパ、ママ」と呼んでいるので、小学校へ上がる前には「お父さん、お母さん」と呼べるように、そろそろ教えなきゃいけないな、と思っている今日この頃です。

話は全然変わりますが、私も20代の頃は冬になるとスノーボードに明け暮れていました。しかし、30代を境にして、全くスポーツというものから遠ざかってしまったのです。ですが、息子も少しずつ成長してきたことなので、これを機会に、息子にもスノーボードを教えて、一緒に行きたいなあ、と思っています。その前に、私のメタボ体型を直してからでないといけないですが、息子のためにも頑張ります。

こんな私を今後ともよろしくお願いします。



※写真はイメージです♪

## ～私のお気に入り～



二チイケアセンター帯広

佐藤 紀久江

皆さん、こんにちは。趣味と言えるようなものはないのですが、しいて言うば夏はキャンプを楽しんでいます。

す。キャンプ歴は20年以上になり、子供たちが小さい時には毎週のようにあちこちのキャンプに出かけました。今では子供たちが社会人になり、夫とチワワと出かけたりと熟年キャンプみたいになってしまいました・・・

それなりに舞ったりと楽しんでいます。キャンプは日常のストレスや忙しさを忘れ、ゆっくりとした時間を過ごし、美味しいものを食べたり、温泉に入ったりするのがいいんです！

お勧めのキャンプ場はサロマ湖三里浜キャンプ場で、ここは7月20日～8月20日と期間限定でホタテや北海しまえびなどを食べることができます。またサロマの夕日もとっても綺麗なのです。ぜひ行ってみてください♪



家族向けには、様似の親子岩ふれ愛キャンプ場やアポイ山ファミリーパークもお薦めですよ。海・山のキャンプの楽しみ方は様々ですがたくさんの思い出を作ることができます。後方付けはしんどいですが・・・



佐藤さんオススメのサロマの夕日です！



これからも休日をしっかり楽しめるように、仕事も頑張らなくてと思います。



## 社会福祉協議会

金井 正樹

会員のみなさん、こんにちは。「ケアマネの輪」執筆のご指名を受けました金井です。介護支援専門員絡協会で今年度から微力ながら総務部副部長を担当しています。どうぞよろしくお願いいたします。

普段は、帯広市社会福祉協議会に勤務しており、まもなく18年が経過しようとしています。介護・福祉業界に飛び込んだ当時は、高齢者福祉ではゴールドプランなど措置制度の時代で、社会福祉基礎構造改革により介護保険制度への移行という目まぐるしく変わっていく介護現場の様子を体験し、現在は居宅の介護支援専門員として奮闘しています。ご存じのとおり社会福祉協議会は、「地域福祉の推進役」として、社会福祉法に位置づけられている福祉団体で、「すべての人が住み慣れた地域社会で安心して自分らしく暮らすことを実現する地域社会をみんなで作ります」ことが役割の一つです。ケアマネとしても、社協マンとしても、地域福祉の視点やその立ち位置を大切にしながら、日ごろの社会福祉援助を実践しています。

さて、突然話は変わりますが、みなさんはこの夏をどのように過ごされましたか？僕とえば、ちょっと大人に、ちょっと風流に、そして「和」を感じながら、浴衣でお祭りや花火大会を堪能してみました。僕、絶妙に似合うんですよ、浴衣が（自画自賛）。来年の夏は、みなさんもぜひビール片手に浴衣でお出かけしてみたいはいかがでしょうか。「ワイルド」ではなく、「マイルド」で粋な夏のひと時を過ごすのもいいですよ～。



今年の勝毎花火大会です。



盆踊りで発見したスター（笑）



# 平成24年度第2回学習会のご案内

今回の研修は「事例検討会」です。日頃のケアマネジメントで重要となるアセスメントの視点について、事例を通じて今一度振り返る機会としてみませんか？

お忙しいとは存じますが、お誘い合わせの上、たくさんの方のご参加をお待ちしております。



◎と き： 平成24年10月17日（水）18：30～

◎ところ： 帯広市グリーンプラザ1階 大集会室

◎テーマ： 「事例検討会」

～本人の夢と家族の希望、どちらを尊重するか迷っている事例～

●連絡先： 47-7500（居宅ふぁ～すと 芳野まで）

# 平成24年度ケアマネ交流会のお知らせ

年に一度のケアマネ交流会の時期がやってきました！

今年は『第2回ケアマネだらけの大運動会』です！運動が苦手な方でも気軽に参加できる楽しい企画が盛りだくさんです♪良い汗をかいて懇親会で美味しいビールを飲みませんか？

沢山のご参加お待ちしております。

◎と き： 平成24年11月30日（金）18：30～

◎ところ： 帯広グリーンプラザ1階 大集合室

◎運動会后、懇親会を予定しています。

10月中旬以降に改めてご案内致します。



## 【介護支援専門員連絡協議会からのお願い】

★連絡先や勤務先が変わったり、苗字が変更になった場合、HPにある「**入退会・変更届出書**」の書式を活用して速やかに届け出てください。

★メールアドレスの登録について、各事業所や会員へのメール配信については、今後それぞれの希望を確認した上での対応とさせていただきますので、**メールアドレスの登録についてのご協力をお願い致します。**

★新規入会は随時受け付けています。入会申込書は、[ホームページ](#)から入手できますので詳細については事務局にお問い合わせ下さい。

（事務局 帯広市社会福祉協議会 金井）

## ＝ 編集後記 ＝

皆様、こんにちは。

今回もお忙しい中原稿を書いてくださった皆さん本当にありがとうございました。

今年の残暑は長くて大変でしたね。涼しい秋の風が吹くまで随分じらされました。

去年の夏はぎっくり腰でどこにも行けず淋しかったことが思い出されます。

今年はキャンプに行ったり野外のコンサートに行くことができたりしてそれなりに猛暑の夏を楽しめました。キャンプでは友達がスモーク料理に挑戦してくれてビールにとっても合いました♪

それでは腰には気をつけて色々な秋を楽しみましょう。

編集長 S

